

他党

▼緊張あおりかねない質問目立つ

衆参予算委員会で25日、北朝鮮による韓国砲撃に関する集中審議が行われ、日本共産党以外の各党からは、菅政権に初動の遅れがあったとの追及に終始したり、軍事的緊張をあおりかねない質問が目立ちました。

民主党の北神圭朗衆院議員は、28日からの黄海での米韓合同軍事

演習について「場合に よっては(日本が)参加 することも可能だ」と 強調。北朝鮮と韓国と の紛争が発生したさい の邦人救出が必要だと して「今の自衛隊法で は安全地帯にしかいけ ない」と自衛隊法改定 の検討を求めました。

また北神氏は、核問 題をめぐる6カ国協議 の再開に関して「今回

もまた(日本が)ほい ほい乗ることがあって はならない」などと主 張しました。

自民党の小野寺五典 衆院議員も「わが党は 邦人被害の誘導のため の自衛隊法改正を提案 している」などと強 調。北沢俊美防衛相 は、「検討したい」と答 弁しました。

公明党の竹内譲衆院

議員は、北朝鮮にたい する「全面的制裁の強 化に踏み切るべきだ」 と要求しました。

一方、自民党の山本 一太参院議員は、首相 が朝鮮学校の高校授業 料無償化に向けた手続 きの停止を指示したこ とについて、「方向性 は間違っていないが、 何の定見もない」など と主張しました。

北朝鮮問題 集中審議

他党が北朝鮮の行動 を非難するだけで、論 拠を示せないなかで、 日本共産党は歴史的事 実や国際法などに基づ いて非を明らかにしま した。

笠井亮衆院議員は、 北朝鮮の行動が朝鮮戦 争の休戦協定など国 際法に違反すること を具体的に提示する とともに、延坪島が韓 国側に属し、同島への 航路や通航の自由に ついても北朝鮮自身

が認めている事実を 示し、領海侵犯だとい う「北朝鮮の言い分は まったく成り立たな い」と指摘。「こうし た事実と道理を踏まえ て論だてる対応が必要 だ」と強調し、「憲法9 条を生かして、平和的 環境をつくりあげてい く外交力を求められ ている」と述べまし た。

井上哲士参院議員 は、「無法な行為の繰 り返しは絶対に許さな

いというき然たる姿勢 を示すことと同時に、 挑発にのって軍事的 緊張を強め事態をエ スカレートさせては ならない」と強調。

「そのためには外交的 ・政治的な努力によっ て解決する国際社会の 努力が必要」と求めま した。

前原外相は、「挑発 行為を繰り返させない ため各国が連携してメ ッセージを出すことが 大事で、ご指摘のよう

に平和的、外交的な解 決が必要だ」と答えま した。

井上氏はまた、砲撃 事件を理由に、菅首相 が、朝鮮学校への授業 料無償化実施を見送る よう指示したことにつ いて、「教育を外交圧 力の道具にすることは あってはならない。子 どもが教育を受ける権 利とこの問題は切り離 すべきだ」とのべ、無 償化実施凍結の撤回を 主張しました。

共産党

▼事実で批判し外交努力を求め